

氏 名	佐 田 憲 映
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 4156 号
学位授与の日付	平成18年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Altered Levels of Adipocytokines in Association with Insulin Resistance in Patients with Systemic Lupus Erythematosus (SLE患者におけるインスリン抵抗性と関連した アディポサイトカイン濃度の変化)
論文審査委員	教授 中山 睿一 教授 谷本 光音 助教授 大野 貴司

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

心血管病変と密接な関係があるメタボリック症候群はインスリン抵抗性 (IR) を基礎としている。SLE 患者における動脈硬化の進行と IR の存在や重要性については十分な検討がなされていない。今回我々は、SLE 患者における IR と、IR に影響を与えると考えられるアディポサイトカインについての検討を行った。

BMI は同等にも関わらず、HOMA 指数は SLE 患者で有意に高値であった。高血圧と糖尿病の罹患率が SLE 患者で多かった。IR を認めた SLE 患者では高血圧罹患頻度が高く、現在の蛋白尿の出現頻度も高かった。アディポサイトカインの検討では、TNF- α ・レプチンは SLE 群で有意に高値であり、また予想に反しアディポネクチンも高値であった。アディポネクチン濃度と HOMA 指数には有意な負の相関を認めた。HOMA 指数と負の相関を示すにも関わらず、SLE 患者ではアディポネクチン濃度が高く、IR に対するアディポネクチンの作用が変化している可能性が示唆された。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、SLE 患者におけるインスリン抵抗性とこれに影響を与えるアディポサイトカインについて検討を行ったものである。その結果、インスリン抵抗性とアディポネクチン濃度との間には、有意な負の相関を認めるにも拘わらず、SLE 患者では対照群に比べてアディポネクチン濃度が高いことが明らかになった。この知見は、SLE の病態解明に重要であり、価値ある業績であると認める。よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。